



地方独立行政法人
筑後市立病院

いずみ

La Fontaine

Vol. 08

新年号 / 2014

ラ・フォンテーヌはフランス語で「いずみ」の意味です



今号の表紙／「あってよかった・かかってよかった・働いてよかった」病院を目指して

Contents

- 年頭所感
- 筑後市立病院からのご報告
- わかりやすい病気のお話
「白内障」のお話
- 診療科の紹介「内分泌・代謝内科」
- 「患者満足度調査」のご報告
- 医療ネットワーク（連携病院のご紹介） ほか

筑後市立病院のシンボルマークは、「病院」「職員」「患者」を表す3つのハート型のシルエットが重なり、生命のシンボル『ハート』を大切に、地域に密着した医療機関を目指すことを表しています。

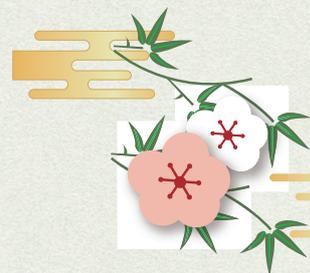


病院長
吉田 正

2014年、新年あけましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えになられたことをお喜び申し上げます。

本年は地域医療再生計画に基づく、災害拠点病院としての整備事業が完成し、運用することとなります。救急外来・病棟の増築、ICUの開設、内視鏡治療センターの開設、リハビリ室の拡張、備蓄倉庫や災害時に患者さんを収容する多目的室の設置および、屋上ヘリポートの開設が主なものです。特にICUや救急病棟は新たな体制で臨まねばなりません。看護師をはじめ医療スタッフの教育に、聖マリア病院ICUと久留米大学高度救命救急センターの協力を得て研修を実施してきました。医師の体制も徐々に充実し、9月には万全の態勢で開設できるよう現在努力しているところです。

平成26年度は地方独立行政法人化4か年計画の最終年度に当たります。計画達成のために3年間の業績を分析し、対応いたします。また次期4年間の病院の運営計画を市から示される運営目標をもとに立案します。



また、4月には診療報酬改定が行われます。前回の改定時のように万全の準備をしてお対応するつもりですが、7対1看護基準が引き締められそうで、維持できるか不透明です。さらに、4月から消費税が8%にアップしますが、病院経営にも影響があります。

患者さんにとって診療体制を解りやすくするため内視鏡治療センター、消化器病センター、外傷センター、呼吸器センターなど診療科のセンター化が必要です。

平成24年度からスタートした医師・幹部職員の人事評価制度はおおむね医師・幹部職員には受け入れられ、彼らのモチベーション向上に寄与しています。医師幹部職員以外にも人事評価制度を導入すべく準備します。

「かかつてよかった病院」「地域にあつてよかった病院」「働いてよかった病院」として評価されることを目標としてきた我々は、今年も「生涯研修・生涯奉仕」の病院理念のもと職員一丸となつて努力する所存です。地域の皆様のご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。



名誉院長
薬師寺 道明

信頼

明けましておめでとうございます。

筑後市立病院が地方独立行政法人として再出発して2年9か月が経ちました。その間、吉田正病院長、梶原雅彦・大内田昌直・中村英智の3人の副院長、庄山ゆきみ看護部長をはじめ、病院各部門スタッフの皆さんの努力により、病院が目指す「患者さんと共に考えた医療」が定着しつつあると感じています。

いままでもなく、最良の医療が行えるのは、患者さんと医療スタッフとの信頼関係が最も大切です。先達の残した「失われた権力や財産は取り戻すことができるが、一度失われた信頼は二度と取り戻すことができない」という名言があります。改めて肝に銘じ、今年も患者さんの信頼に応えるよう努力していただくことを期待しています。



副院長
梶原 雅彦

明けましておめでとうございませう。年頭にあたりご挨拶申し上げます。

昨年は私にとって、職場を変わり、しかも副院長職に就くという大きな変化の年でした。しかしその使命を果たすにはほど遠く、皆さんに支えていただき、いろいろ勉強させていただきました。

今年はいよいよ少しこの病院に貢献しなければと思っています。その一つに消化器病センターの立ち上げがあります。今年には現在建設中のICU病棟(4床)、ヘリポート等の完成に伴い、内視鏡室も一新します。これを機に消化器病外来をセンター化するという構想があります。つまり上下部消化管疾患、肝疾患、胆・膵疾患の患者さんに対し、消化器内科、放射線科、外科が同じフロアでそれぞれの専門性を生かし協力して診療を行えるようにし、治療には栄養士、薬剤師も介入できるようにします。

このようなチーム医療を協力して行い、目標の一つである「かかってもよかつた病院」となるために、患者さんに質の高い医療を提供したいと考えます。

皆さん、今年もよろしくお願いいたします。



副院長
大内田 昌直

新年明けましておめでとうございませう。

さて、平成26年は地方独立行政法人の中期計画最終年度であり、節目の年です。これまでの3年間は質の高い医療の提供と患者サービスに心掛けて地域医療に貢献できる市立病院として努めて参りました。昨年までの外来・入院患者数も年々増加し、経営状況は独法化以前と比較して改善傾向であり中期目標を達成しています。

今年には八女・筑後地域の災害拠点病院として、ICUや病院屋上にヘリポートが間もなく完成予定です。また、春には救急外来部門の改築工事など、これまで以上に緊急対応が可能な病院としての整備が進んでいます。程近い久留米市には三次救急施設である久留米大学病院と聖マリア病院の2大救命救急センターがあり、今後も密接な連携をとり我々は24時間いつでも緊急時に対応できる地域の拠点病院を目指します。現在、災害派遣医療チーム(DMAT)も準備中で、これまで以上に行政や消防、医師会とも密接な関係が必要となります。

新たなスタートに向けて、今年もどうぞよろしくお願い致します。



副院長
中村 英智

私は占いや全く信じないのですが、細木数子さんの「六星占術」によると、平成26年の私は「踏んだり蹴つたりの一年。ひたすら耐えるしかありません」ということらしいです。これはイカンと思ひ、純正運命学会の「九星運勢占い」を見ると、「油断できない厳しい年。何事にも慎重な姿勢で臨め」と書いてあります。さすがに落ち込み、高島易観象学会の「平成26年観象運勢暦」を見ますと、「何事も先手必勝。信念を即実行せよ」と書いてありましたので、少し落ち着きました。

さて、筑後市立病院が地方独立行政法人としてスタートした平成23年4月1日を生まれの日としてこれらの占いを見てもみると、「大殺界のど真ん中。不運の嵐がさらに強さを増します」、「現状維持に徹して内面の充実に力を注ぐことが大切」、「不安動揺の多い年。過信するなかれ」と、散々な結果です。

どうやら、私も筑後市立病院も平成26年はあまり良い年ではなさそうな暗示です。黒字に転じたからと言って慢心せず、堅実で基本に忠実な一年にしたいと思ひます。



平成25年度第2回モニター会議



活発な意見交換が行われました

平成25年11月15日(金)に、本年度第2回目のモニター会議(全3回)を筑後市立病院内で開催しました。6名のモニター委員の方々にお越しいただき、筑後市立病院に対し「病院のPRが足りないのではないか」「水飲み場の場所が分かりにくい」など、当院への期待が表れたご意見や、患者満足度向上を求めるとご意見、他にも質の改善を求めるとご要望など、多くのお声を頂戴することができました。

地域の方々から「あつてよかった」「かかってよかった」と思われる病院を目指し、ご意見・ご要望につきましては、改善策の検討を早急に行っております。中には改善が難しいものや改善に長時間かかるものもありますが、継続的な検討の中で改善策を見出し、いくつ努力を重ねてまいります。

筑後市立病院は今後もモニター会議を通して地域の方々からのお声を頂戴し、終わりのなき医療の質の追求と、患者満足度の向上を追求いたします。

第15回運営方針発表会



平成25年12月7日(土)に第15回運営方針発表会を行いました。各部署や医療チームごとに来年度の運営方針や改善目標を発表し合い、よりよい病院になれるよう職員全員が考え、共通認識を持つことができたと思います。また、発表では戦略マップとスコアカードを用い、目標に向かつてどのようなアクションを起こすべきかを明確にすることができました。

発表前、日本大学商学部教授の高橋淑郎先生に「医療BSCの基本の理解と運用のポイント」理解・作成・運用・成果」という演題でご講演をしていただき、BSCの必要性や有用性を再確認することができました。また職員が発表した演題に対し、B



高橋淑郎先生による講演

SCをより上手く活用する方法などコメントを頂戴しました。

今回の発表会でさまざまな課題が見えてきましたので、患者さん、地域の方々にとって「あつてよかった」「かかってよかった」病院となれるよう、より一層努力していきたいと思っております。

表彰

「根づかせよう安全文化」

病院安全管理室

「内視鏡室の心・技・知」

消化器内科・内視鏡室

「健やかな成長をめざして」

小児科



福岡県自治体病院開設者協議会・ 全国自治体病院協議会福岡県支部 平成25年度 合同研修会

経営企画室長 江藤 雅章

平成25年12月6～7日、樋口軒にて「福岡県自治体病院開設者協議会・全国自治体病院協議会福岡県支部 平成25年度合同研修会」を開催しました(当院は開催地協力病院)。

来賓として福岡県自治体病院開設者協議会の会長でもある中村征一筑後市長にご挨拶をいただきと共に、県内各自治体病院から多くの方々にご参加いただき充実した研修会となりました。

▼「バランス・スコアカードを活用した戦略的病院経営」～理論成果・課題～
高橋淑郎氏(日本大学商学部教授・日本医療バランス・スコアカード研究会(会長))

BSCは「学習と成長の視点↓業務プロセスの視点↓顧客の視点↓財務の視点」の因果連鎖を明確にし、全員の理解と共感と納得性をベースにした改革のツールであり、当院でも活用しています。

▼「購買適正化から始める病院経営の強化」

中野一夫氏(ヘルスケア・システム研究所代表取締役)

医療の質を担保しながら病院経営における費用の合理化を進めていくことが必要となります。購買適正化による直接コスト削減に着手していくときの考え方などを紹介いただきました。

▼「ジョン・コッターの8つの変革ステップ

からみた松阪市民病院経営改善の検証」

世古口務氏(松阪市民病院総合企画室 副室長、元市立伊勢総合病院 院長)

第一段階の「危機意識を高

める」から、第八段階の「変革を根付かせる」までの活動内容をご紹介いただきました。当院でも、10月の経営戦略検討会議で当事例に沿った検証を行っております。

▼「認定看護師・看護管理者の育成と看護の質向上の取り組み」

神坂登世子氏(国際医療福祉大学福岡看護学部・大学院 教授・元福岡県看護協会会長)

トップマネージャーの要件まで備えたサードレベルの看護管理者、認定看護師や専門看護師といった専門性の高い看護師の育成や配置・処遇を含めた考え方など幅広い視点から講演をいただきました。

▼「地方独立行政法人病院評価委員会に参加して」～どこまで改善されたか～

丑山優氏(九州情報大学経営情報学部長、九州大学名誉教授)

厚生労働省医政局データからみる各種病院経営の動向、並びに大牟田市立

病院と筑後市立病院の病院評価委員会の副委員長としての視点を通して、自治体病院や同規模医療法人との比較結果などをご紹介いただきました。



中村征一筑後市長によるご挨拶

増改築工事進捗状況

現在、筑後市立病院では災害拠点病院となるべく、ICU病棟・リハビリ室などの増築工事および屋上にヘリポート設置工事を行っています。増築工事は鉄骨工事が終わり、各階、床のコンクリート工事へと進み、今後は外壁などの工事を行う予定となっています。ヘリポート工事につきましては基礎工事が終了、ヘリポート本体の鉄骨工事が始まります。

工事期間中は、病院利用者や近隣周辺の皆様には騒音や振動などご迷惑をおかけしておりますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



完成予想図

工事完了：平成26年9月30日(予定)

目にも定期検診を

「白内障」のお話

白内障は「カメラのレンズが曇ったのと同じ状態」

人の目は、よくカメラにたとえられます。レンズが濁った状態のカメラで撮った写真は、ピンボケのようにボーズとした写真になります。白内障もこれと同じで、カメラのレンズに相当する、本来は透明なはずの水晶体に濁りが生じて、フィルムの役割をする網膜に鮮明な像が結ばなくなり、視力が低下します。

80歳以上では、ほぼ100%

白内障はさまざまな原因で起こりますが、最も多いのが加齢によるものです（加齢性白内障）。個人差はありますが、白髪や肌のシワと同じで、年とともに誰にでも起きる変化です。一種の老化現象なので、高齢の人ほど多く発症します。事実、自覚症状がなくても検査で水晶体の濁りが見つかる人は40代でも結構いますし、80

歳以上では、ほぼ100%白内障が確認されます。

「加齢性白内障」以外の「白内障」

最近ではアトピー性皮膚炎や糖尿病の合併症として若い人の発症が増えています。その他、母親の体内で風疹に感染することが原因で生まれつき白内障になっているケース（先天性白内障）や、目のけが（外傷性白内障）、ステロイド剤などの薬剤の副作用、ぶどう膜炎という目の病気に引き続き白内障が起きることもあります。

白内障の症状

目の中の水晶体が濁ることにより視力が低下しますが、濁り方は一人ひとり違うため、症状はさまざまです。『目がかすむ』『まぶしい』『明るいところで見えにくい』『一時的に近く



が見えやすくなる』『眼鏡が合わなくなる』『二重、三重に見える』『視力低下』などです。このような症状がある場合は、一度眼科を受診してください。白内障があるかないかは、簡単な検査を受ければすぐにわかります。

治療と手術

『「不便さを感じ始めたら手術を考える」』

日常生活に支障がない程度なら薬剤により進行を遅くすることもできますが、水晶体に発生した濁りは薬で取り除くことはできず、症状を改善したり、視力を回復させることはできません。根本的な治療は手術で濁った水晶体を取り出してしまいうこ

馬場 順子

Junko Baba

眼科 科長

【専門分野】糖尿病網膜症

【資格、所属学会など】

・日本眼科学会専門医

・日本眼科手術学会

・日本糖尿病眼科学会

とです。

白内障が進行して、日常生活に不自由を感じるようであれば、手術を考えましょう。いつ手術を受けるかは、「その人が不便だと感じたときが手術を受ける時期」と考えて問題ありません。

- ◆眼鏡を作り直したが、よく見えない。
- ◆視力が低下して仕事に支障がある。
- ◆外ではまぶしくて極端に見えづらい。

最新の手術機器を導入しています



白内障手術装置：インフィニティ ビジョンシステム

この機械は術中の眼圧コントロールに優れており、患者さんの負担を軽減し、より安全で効率的な手術が可能となります。



手術用顕微鏡：Lumera700

白内障手術や硝子体手術をより安全に行うことができ、眼内の視認性に大変優れた最新機械です。

外来診療受付

月～土曜日 午前8時15分～午前11時30分
(診療開始：午前8時30分)

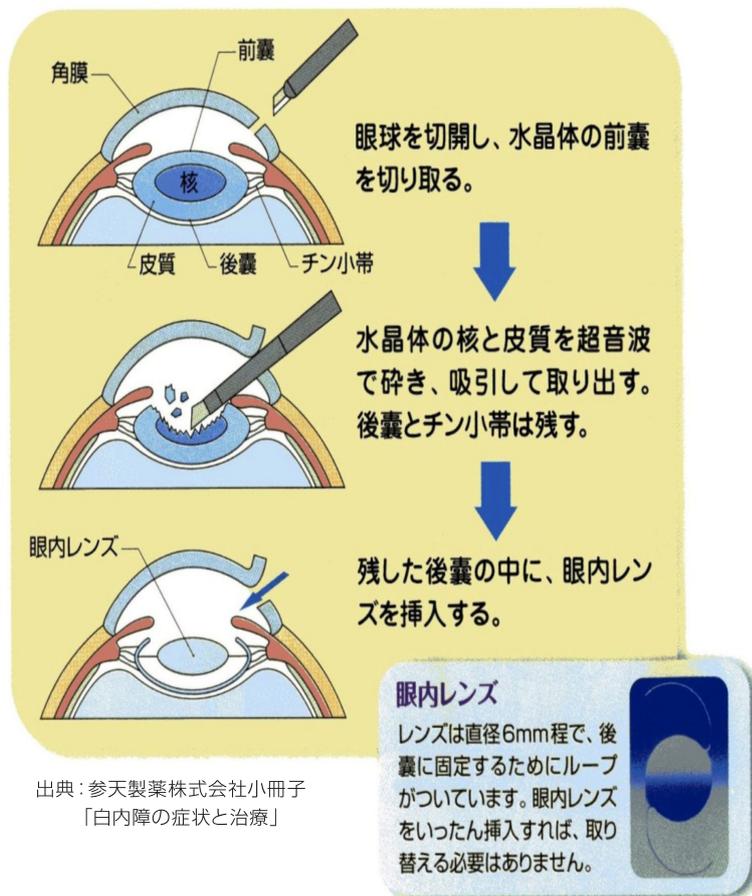
- ※ ただし救急患者は随時受け付けます
- ※ 予約の方を優先とさせていただきますので
予約外の方は多少時間がかかる場合がございます

◆ 視力が0.7以下になって、運転免許の更新ができない。
ただし、白内障以外の病気がある場合は医師とよく相談して手術の時期を決めてください。

**白内障手術の
入院期間と日帰り手術**

手術後の管理も含めて1泊2日の入院が一般的ですが、患者さんの全身状態や手術後の通院に問題がなければ、日帰り手術も可能です。当院では『入院』『日帰り入院』『外来』での白内障手術を行っています。どれにするかは医師とよく相談して決めてください。

超音波水晶体乳化吸引術



白内障手術料金(片眼)

	医療費自己負担割合	
	1割	3割
入院(1泊2日)	¥26,000～	¥78,000～
日帰り入院 (病室利用)	¥21,000～	¥63,000～
外来(病室利用なし)	¥15,000～	¥45,000～

ゴーグル代(自費)を含む(平成25年11月現在)

- ※ 料金はあくまでも概算です。診療内容により変動する場合があります。
- ※ 差額室料は含まれていません。病室によって別途室料が発生する場合があります。
- ※ 詳しくは医事課にてお問い合わせください。



左から安田医師、工藤医師

【医師紹介】

くどう たかふみ やすだ じゅんいち
 ●工藤 孝文 ●安田 淳一

【外来診療】

◆受付時間

月～土曜日

午前8時15分～午前11時30分

【診療開始】午前8時30分

◆休診日

日曜日・祝日・第3土曜日・お盆(8/15)

年末年始(12/30～1/3)

【診療内容の概要】

当科は糖尿病内分泌代謝疾患を専門に扱う内科診療部門のひとつです。これらの疾患、特に糖尿病は、発症予防はもちろん、合併症の発症や進展を抑えるために適切な内科管理が必要な疾患です。もともと、糖尿病は生活習慣病の一つとして、患者さん一人一人にあったやり方が必要です。糖尿病のコントロールや合併症対策のため、あるいは糖尿病についてさらに知識や実践を向上させるために、丁寧な外来診察はもとより、糖尿病教育入院あるいは栄養指導、透析予防指導やフットケアといった療養指導にも力を入れています。また、日頃の細かな血糖値の動きを探るため短期の血糖コントロール目的入院や肥満症に対する減量目的の入院も行っております。脂質異常症などの代謝疾患や甲状腺・副腎などの内分泌疾患についても専門科として、また、関係各科と密接に協力して十分な対応を行っております。当科では、頼れる身近な専門科として、さまざまなご要望に応え、かかりつけの先生と協力して患者さんのより良い療養生活に役立ちたいと考えています。遠慮なくご相談ください。

いずみ I ツセイ

● 第7回：画像センター室長 松下 素

初挑戦 ～RUN FOR TOMORROW～

二〇二〇年に世界最大、最高のスポーツイベントであるオリンピック・パリリンピックが東京で開催されることが決まりました。前回の東京オリンピック開催は一九六四年ですので、その時は競技を見ていないどころか、まだ生まれてもいませんでした。そのため開催までまだ6年あるとはいえ、球技・陸上・水泳・格闘技などスポーツ全般を通して好きな私にとっては、この大イベントを今から大変心待ちにしています。

さて、スポーツ好きとはいうものの、ここ数年はスポーツ観戦ばかりで、自分自身、体を動かすことがあまりできていませんでした。そのおかげ(?)か、体重が10年前より10キロも増え、最近では久しぶりに会う人からの第一声は「太った?」と聞かれることから始まります。このままではいけない!と思い、何かスポーツをする決心をしました。そこで思い付いたのは、今やブームでもあるマラソンです。しかもフルマラソン! 目標が大きいほど、そして大会が大きいほど走り込めるだろうと、3年前から東京マラソン、大阪マラソンにエントリーするも、今度は抽選という厚い壁が立ち上がり落選。当選するのを待っていても年はとっていくもので、これ以上待つてはられないと、抽選なく参加できる鹿児島県の「いぶすき菜の花マラソン」にエントリーしました。ご存知の方も多いのではないのでしょうか?

この大会はフルマラソン公認コースの市民マラソンとして日本で一番早く開催されており、浴道ではふかし芋やぜんざい、豚汁、菜の花漬けなどが地元の方々から振る舞われ、スタートからゴールまで「おもてなし」満載の大会で知られています。「初マラソンで完走」が目標の私にとっては絶好のマラソン大会と思っており、トレーニングに励んでいます。本番は1月12日。この「いずみ」が発刊される頃には結果が……。

最近ではマラソン人口が増え、全国各地でマラソン大会が開催されているようです。この筑後地域においても「ちっごマラソン大会」が毎年3月に開催され、春の息吹を感じながら多くのランナーたちが走っています。

健康のため、トレーニングのため、ダイエットのためなどの目的はさまざまですが、走り終わった後の爽快感や達成感は同じで、気持ちのいいものです。大きな道具もいらず、場所も問わず、一人でも始められます。ぜひジョギングから始めてみませんか? そして二〇二〇年、今10代や20代の若い世代の人たちが日の丸を背負ってオリンピックの大舞台に立つとき、私たちも何かスポーツに携わりながら、日本代表選手を応援できたらと思います。

第52回 全国自治体病院学会 in 京都

外来主任 江崎 靖代

木々の葉の青さを残す京都にて、平成25年10月17日・18日の2日間、第52回全国自治体病院学会が開催されました。会場となった国立京都国際会館では、全国から1300を超える演題の活気で、圧倒されるものがありました。今年は「患者が中心の地域とともに歩む自治体病院―医療提供の最適化をめざして―」をメインテーマとし、社会情勢でもある高齢化社会を踏まえ自治体病院としての方向性や、地域との共存患者中心の医療などをテーマとした数々のシンポジウムが行われ、これからの病院のあり方など改めて気づかされるものばかりでした。

当院からは、管理分科会にて吉田院長が「地方独立行政法人筑後市立病院の経営改善」として、「バランススコアカードを用いた戦略的経営手法の導入や、職員のモチベーション向上につながる戦略法等が、個々の職員の経営改善に貢献した」として発表をされ、各方面からの注目を集めました。同じ管理分科会には、松田まゆみ（医



療情報管理室）より「診療報酬の算定要件を遵守した運用における診療情報管理士の役割」とし、新設さ



れた「糖尿病透析予防管理料」「院内トリージ実施料」の運用にあたっての関わりを発表し、専門職としての役割チーム医療の重要性を訴えるものとなりました。また、リハビリテーション分科会では、久保田麻里子（リハビリテーション室）より、心不全患者の入院から心臓リハビリテーション介入までの日数と家庭（施設）復帰についての検討を行った「高齢者心不全患者の早期リハビリテーション」家庭から家庭への発表も行いました。100歳台のリハビリを行うなど関心を集めると同時に、今後に繋がるご指摘を受けるなど有意義なディスカッションが繰り広げられました。看護・看護教育分科会では、外来看護に携わる看護師として「救急外来での看護師のトリアージに関する現状と課題」の発表を行いました。救急災害看護は今後の医療の現場では大きな課題となってくる分野でもあるため、多くの質問を受け関心の深

さを肌で実感するものとなり、自分自身大きな自信に繋がると共に新しい挑戦への刺激をうけた感じがします。

今回は九州・宮崎にて開催が予定されています。多くの発表を行うことで、病院の活性化が図られると同時に、医療の質が向上されることを期待しています。

季節の行事を楽しんでいます 〜きつずハウス〜

平成25年10月29日（火）、筑後市立病院敷地内にある院内保育所「きつずハウス」より、かわいいお客さんが当院に遊びに来てくれました。ハロウィンのちなみ仮装をした子どもたち。当院職員からお菓子を配り、一緒にごやかな時間を過ごしました。「きつずハウス」では、毎月季節にちなんだ行事や楽しい活動を行っています。

※当保育所は八女筑後医療圏の医療従事者の円滑な職場復帰、その後の仕事と家庭の両立を支援しています。



きつずハウス

月～土曜日 午前7時30分～午後8時

健康と福祉の祭典

中央検査室 室長 今村 市夫



平成25年「健康と福祉の祭典」が10月13日（日）にサザンクス筑後で開催され、当院は今年も「健康無料体験コーナー」のブースを設け参加しました。ブースでは血圧・肺活量・骨密度測定・呼吸リハビリテーションの4つの無料体験コーナーを設置し、市民の方々に実際に測定体験をしていただきました。当日は9時から13時まで行われ、開始早々多くの方にご来場いただき、行列ができるほど大盛況でした。特に高齢の女性が骨粗しょう症になりやすいことから骨密度検査を希望される方が多く、その待ち時間を利用し呼吸リハビリなども体験していただきました。肺活量測定・骨密度測定では、担当技師が結果説明を行いました。肺活量測定では、日頃運動をされている方は年齢より若く、喫煙されている方は実際の年齢より高い傾向にありました。

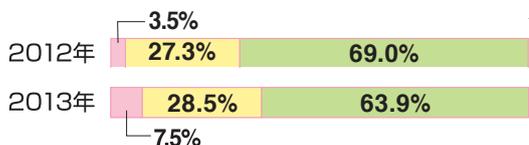
「来年もぜひ肺活量・骨密度検査を受けたい」とご意見をいただきました。まだまだ小さな活動ですが、今後さらに内容を充実し、このようなイベントを通じて皆さまに健康の大切さをアピールしていきたいと考えています。

外来患者さん編

平成25年9月17日から10月17日まで、外来および入院患者さんへの満足度アンケートを実施しました。紙面の都合上、集計結果を一部抜粋し概要報告いたします。また、アンケートの自由記述にていただきましたご意見につきましては、次号でご報告いたします。これらの調査結果を「あってよかった・かかってよかった病院」づくりの参考にしてまいります。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

回答数 【2012年】 245件
【2013年】 1,098件

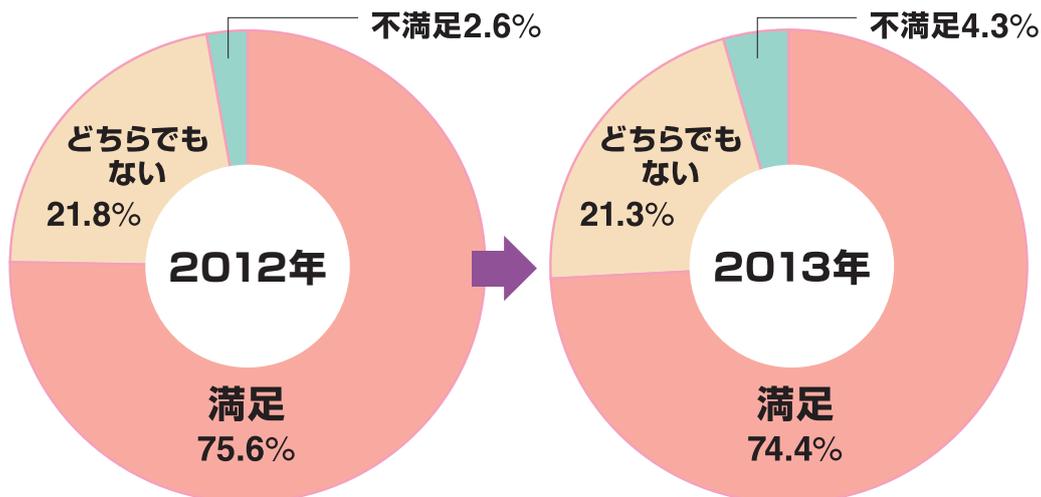
年齢層 ■ 20代以下 ■ 30～50代 ■ 60代以上



概要

- ▶ 全体的にやや満足度が減少しているが、「全体として当院に満足している」の設問では、74.4%が満足と回答している。
- ▶ 「予約時間までに又は許容できる時間内に診察の呼び出しがあった」の設問では、2012調査から『不満足』が3.9ポイント増だが、『満足』も1.9ポイント増となっている。

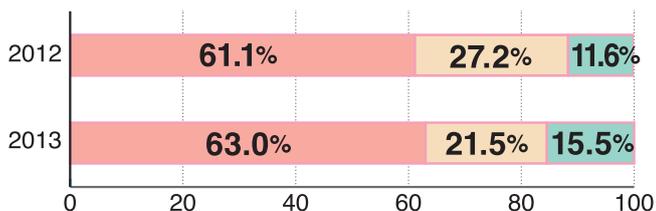
全体満足度



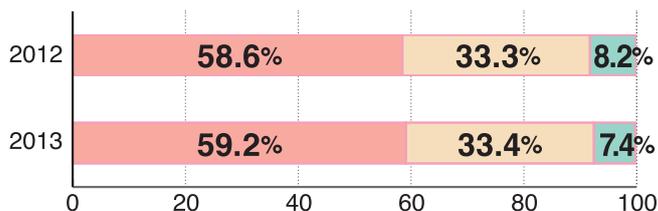
満足度増加の上位2項目

■ 満足 ■ どちらでもない ■ 不満足

▼ 予約時間までに又は許容できる時間内に診察の呼び出しがあった



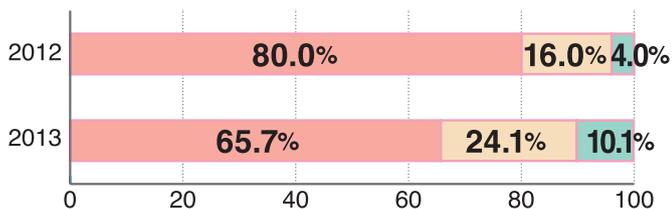
▼ 保険診療や健診の料金体系がわかりやすく掲示してある



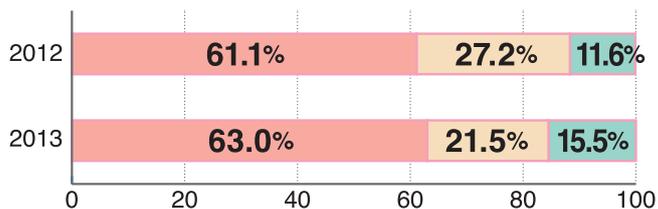
不満足度増加の上位2項目

■ 満足 ■ どちらでもない ■ 不満足

▼ 待合表示があるので待ち時間の目安になる (2012は整形外科受診者のみ)



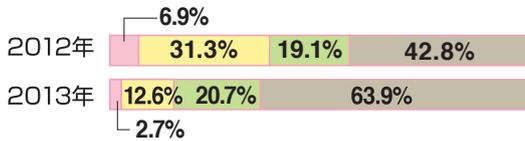
▼ 予約時間までに又は許容できる時間内に診察の呼び出しがあった



入院患者さん編

回答数 【2012年】 145件
【2013年】 117件

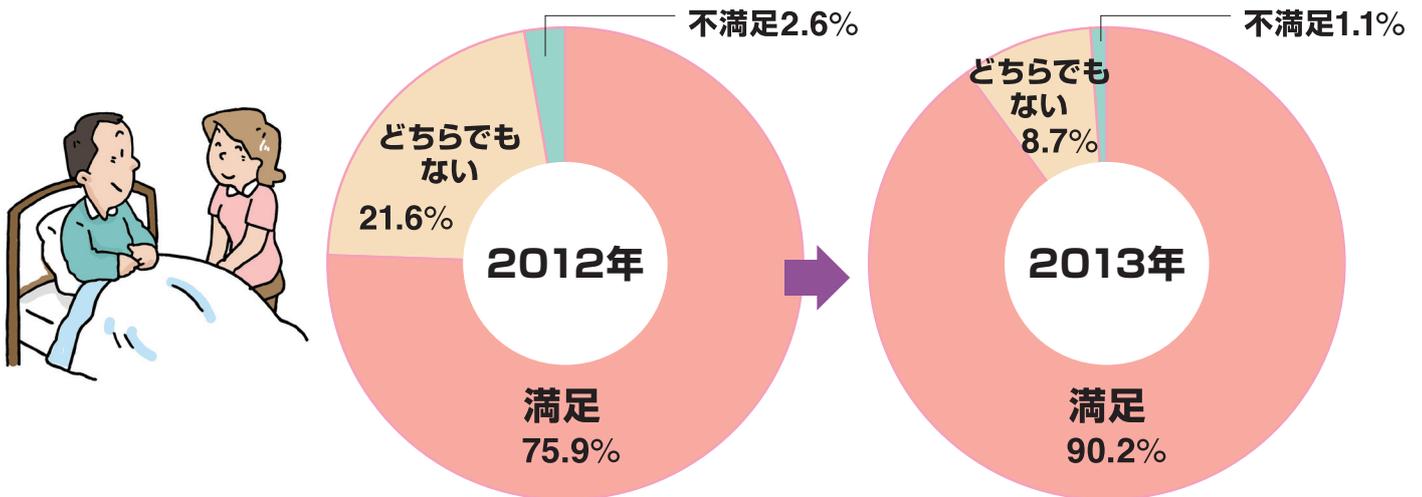
年齢層 ■ 20代以下 ■ 30～50代
■ 60代 ■ 70代以上



概要

- ▶ 「全体的な満足度」は90・2%と高く、2012調査から14・3ポイント増加している。また、多くの項目で満足度は増加している。
- ▶ 不満足度増加の上位2項目は、満足度も増加している。

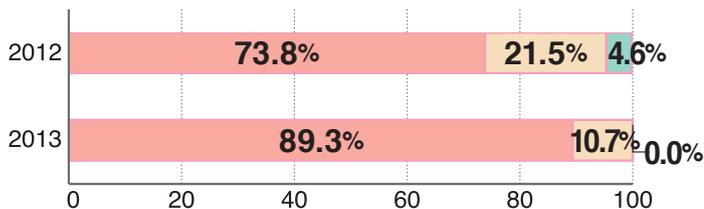
全体満足度



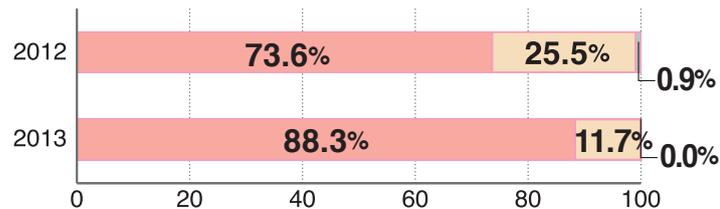
満足度増加の上位2項目

■ 満足 ■ どちらでもない ■ 不満足

▼ 受付・会計の対応に満足している



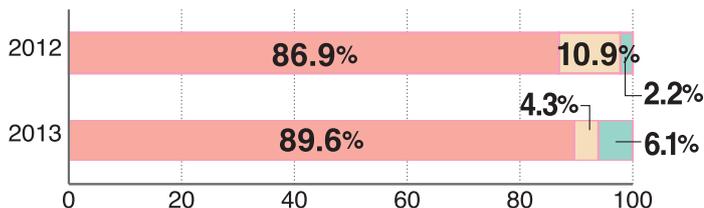
▼ 薬剤師の対応に満足している



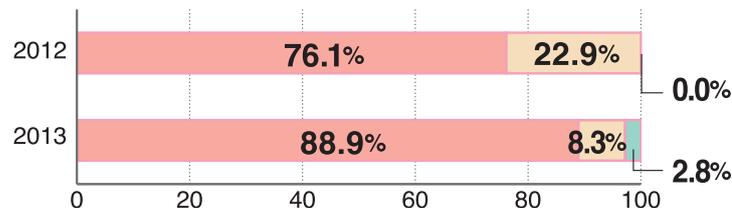
不満足度増加の上位2項目

■ 満足 ■ どちらでもない ■ 不満足

▼ 病状の説明に満足している



▼ リハビリでの対応に満足している



集計結果（完全版）は、当院ホームページ (<http://www.chikugocity-hp.jp>) に掲載しております。

興味がある方は是非ご覧ください。ホームページが閲覧できない方は医事課または経営企画室までお問い合わせください。

地域医療支援室紹介

地域医療支援室は、医師1名、看護師2名、医療ソーシャルワーカー3名、事務2名の計8名の体制になりました。引き続き相談業務、退院調整支援、地域の医療機関からの紹介患者さんの紹介状や返書の管理を行っています。また、筑後市立病院では、患者さんを中心に病院と診療所が協力して、よりよい医療ができる「病診連携」「病病連携」を行っていますので、かかりつけ医の先生方には常日頃より連携させていただきご支援ご協力を賜っています。

(地域医療支援室室長 澁田 美江)



スタッフ

- 医師：富岡 竜介
- 室長：澁田 美江
- 看護師：桐明 陽子
- 社会福祉士：中村 玲奈
- 社会福祉士：園田 美穂
- 社会福祉士：菊池 優子
- 事務：古川 シヅ子
- 事務：栗野 愛子

「医療ネットワーク」のコーナーでは、連携先の診療所や病院を順次ご紹介していきます。

連携先である筑後市の病医院（順不同）

診療科目 泌尿器科、人工透析

診療時間	月	火	水	木	金	土
9：00～13：00	●	●	●	●	●	●
14：30～18：00	●	●	●		●	

休診日 日・祝日及び木曜、土曜の午後 お盆・年末年始

ごあんない

◆当院で行っている特殊治療◆

- ◎血液透析、ECUM、オンラインHDF ◎TUR-P（経尿道的前立腺切除術）
- ◎TUR-B t（経尿道的膀胱腫瘍切除術） ◎内シャント手術
- ◎PTA（経皮的末梢血管拡張術） など



今年9月1日で開業満20年になりました。また、筑後市に住んで13年になります。以前は久留米市から通勤していましたが、平成12年に病院から5分くらいの所に自宅を建て筑後市民になりました。住めば都と言いますが、筑後市は交通の便もよく、住民の方々も親切で大きな災害もなく大変暮らしやすい街です。昨年の洪水には少し驚きましたが、地震や台風など甚大な災害が多くなっている昨今、筑後市はとてもしない地域だと思います。このような素晴らしい住環境にある筑後市とその周辺の方々へ、微力ではありますが、この地域に住んでいて良かったと思えるような医療を実践したいと考えています。還暦は過ぎましたが、医療に対する思い、経験ではまだ若い先生方にも負けないつもりです。今後も中村クリニックをよろしく申し上げます。



医療法人 中村クリニック

院長 中村 芳文

住所 〒833-0032 福岡県筑後市大字野町665-1

電話 0942-52-7311

fax 0942-52-7313

診療科目 内科、循環器内科、腎臓内科、人工透析

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～13:00	●	●	●	●	●	●
14:00～18:00	●	●	●	●	●	

休診日 土曜午後・日曜・祝祭日・お盆・年末年始

ごあんない

- ◎各種健診、各種予防接種を行っています。
- ◎往診、訪問診療を行っています。
- ◎日本内科学会認定医、日本腎臓学会専門医、日本透析医学会専門医



平成7年、チクゴ胃腸科から医療法人 チクゴ医院に名称変更し、義父(故 甲斐田 豊)より継承開業しています。専門が腎臓病学のため慢性腎臓病の治療に取り組んでいますが、脳梗塞、認知症等で通院困難な患者さんの入院透析も行っています。しかし、この地域で育てられた有床診療所ですので、地域医療が基本と考え、有床が続けられるよう努力したいと思います。



医療法人 チクゴ医院

理事長・院長 堀 義晴

住所 〒833-0014 福岡県筑後市大字尾島685

電話 0942-53-4350 **fax** 0942-53-4351

診療科目 脳神経外科・神経内科・リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	●	●	●	●	●	●
14:00～18:00	●	●	●	☆	●	☆

☆:14:00～17:00 ※土曜日の午後は聖マリア病院脳神経外科医師の診察予定

休診日 日曜日・祝日およびお盆(8月13日午後から15日まで)
年末年始(12月30日午後から1月3日まで)

ごあんない

- ◎IT化(電子カルテとレセプト、pacs、ID-Link) ◎ホームページによる医療案内
<http://tutumclinic.com/> スマホ版:<http://123tutuminsc.ddo.jp/>
- ◎MRI(2台):1.5テスラとオープン型 ネット予約可能、認知症診断ソフトVSRAD。
- ◎筑後市の脳ドック検診を実施(平成23年度から) ◎脳卒中のリハビリ、パーキンソン病には脳磁気刺激治療



当院は筑後市で初めての脳神経外科を開院し、今年で9年目になります。2台目のMRIを導入し、脳梗塞急性期のクリニカルパスを実現しています。一方、筑後市の脳ドック検診は、筑後市立病院と当院が協力して実施しており、くも膜下出血や脳梗塞予防に貢献しています。他の疾患にも普遍化させたいと思います。医師会と筑後市立病院と連携して地域医療の改善に協力致します。毎日患者様たちの「安心しました」という言葉を聴きたいものです。



医療法人 つつみ脳神経外科クリニック

理事長・院長 堤 健二

住所 〒833-0054 福岡県筑後市大字蔵数642番地7

電話 0942-42-1155 **fax** 0942-42-1158

皆さんの地域へ伺います！ ～健康講座のごあんない～

地域の皆さんの健康増進の一環として、健康講座を無料にて行っています。当院スタッフが地域に出向き講演いたします。デイサービス・老人クラブなどで利用してみませんか。

- 対象：筑後市内 非営利団体
- 人数：30～40名以上（応相談）
- 日時：月曜日～金曜日の10時～16時（約60分程度）
- 講師：医師、看護師、管理栄養士、理学療法士
臨床検査技師 など
- テーマ
 - 「がん検診のすすめ（吉田正／筑後市立病院院長）」
 - 「子育ては物知り“おじいちゃんおばあちゃん”が主役（薬師寺道明／筑後市立病院名誉院長）」
 - 「がんを予防する食習慣」
 - 「いびきのサイン見逃していませんか？ 睡眠時無呼吸症候群」
 - 「上手にごっくん！肺炎予防」など



【問い合わせ】経営企画室
(☎ 0942-53-7511)

※講演にかかる費用は負担いたしません。また、希望講座はご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

睡眠時無呼吸症候群

- ☑いびきをかく ☑日中に眠気を感じる
- ☑朝起きた時に頭痛がある ☑いつも熟睡感がない

上記項目に当てはまる方は「睡眠時無呼吸症候群」の疑いがあります！

睡眠中に無呼吸状態が繰り返されるため、心臓や体に大きな負担がかかり、生活習慣病にも関連します。また、日中の眠気が交通事故や労働災害につながる可能性があります。お心当たりのある方は早めの受診をお勧めします。

【検査の流れ】

①外来受診（問診）

まずは「呼吸器内科外来」を受診してください。

②自宅検査

小型の機械をお持ち帰りいただき、一晩の酸素飽和度を測定します。

③PSG検査

自宅検査で異常があれば1泊2日の入院検査を行います。

【検査費（目安）】

約 10,000 ～ 30,000 円（自己負担分）※個人差があります

【問い合わせ】内科外来（☎ 0942-53-7511）



ストレッチング

- ◎提供：リハビリテーション室
- ◎写真モデル：井上 修一郎（理学療法士）

冬の寒さや毎日のお仕事などの疲れで身体がこわばっていませんか？今回は気軽にできる肩のストレッチをご紹介します。ぜひ試してみてください。

ストレッチには身体の緊張をほぐすだけではなく、心身のリラックス感をもたらすストレスを除く効果があります。

※痛みが出たらすぐに中止してください。



1 肩のストレッチ

手を前に伸ばし、もう一方の手でひじのあたりを抱えこみ、胸に引き寄せる。
体をまっすぐに向け、腰をひねらずに行います。



2 肩から腕の裏側のストレッチ

ひじをもう片方の手で頭の側に引き寄せる。後方の手は肩甲骨のあたりにおくようにする。
ひじを引っ張るのが困難な人は、手と手をつないで行います。



POINT

- 息を止めず、自然な呼吸を行う
- 反動をつけずにゆっくりと伸ばす
- 10秒以上伸ばした状態を維持する
- 伸ばす筋肉を意識しながら行う
- 無理をせず、できる範囲で行う

3 肩まわし

前回り、後ろ回りを5～10回行う。
ゆっくり大きく動かすと効果的です。



小児科予防接種

【完全予約制】

実施日

●毎週月・木曜日

午後2時30分～午後3時30分

●毎週土曜日(第3土曜日を除く)

午前11時00分～午前11時30分

ご予約・ご相談

小児科外来(0942-53-7511)
に月～金曜日の午前9時～午後
2時までにお電話ください。

病児保育施設



事業目的

生後3か月から小学生までのお子
さんが病気の「回復期」などで、集
団生活が困難であり、かつ、昼間家
庭で育児できない場合に「一時預
り」を行うもので、保護者の「子育て
と就労の両立」を支援し、児童の
健全育成を目的としています。

場所

病児保育施設「ちっこハウス」
筑後市大字和泉917-1
(筑後市立病院横)

利用時間・受付時間

【月～土曜日】

午前7時30分～午後6時30分

詳細は下記までお問い合わせください

TEL 0942-52-2577



編集後記

新年おめでとうございます。縁あって
広報誌「いずみ」の制作に今号から携
わることになりました。院内外の方々に
原稿をお願いし、とりまとめ、最終
的に1冊16ページにまとめる。言葉に
すると簡単ですが、私には字面ほど容
易ではなく戸惑ってばかりでした。執
筆いただいた方には多忙のなか時間を
割いていただき、「患者さんに分かり
やすい内容で!」という注文にも快く
応えていただきつつ練り上げられた記
事ばかりです。ぜひ多くの方にご覧
き、筑後市立病院の「今」をお伝えで
きればと思っています。
(経営企画室 林 美奈子)



女性漢方外来のご案内

冷え性、生理痛、頭痛、便秘・下痢、むくみ、ほてり、不眠、めまい、疲
れ、イライラ、更年期?…困っているのは、あなただけじゃありません。
多くの女性が特有のリズムの変調があっても、周囲に相談できずに悩んで
います。そんなあなたのために、当院では女性漢方外来を行っています。
今のあなたになるまでの物語をうかがい、整理していきます。気づかなか
った点に出会うこともしばしばです。さらにお腹や舌、脈を診察し体全体のイ
メージに合わせて、健康保険のきく漢方薬で治療していきます。

●担当診察医：宮崎憲一郎(大木町 宮崎整形外科医院 院長)

●診療時間：毎週木曜日12:30～14:30【予約制】

●ご予約：筑後市立病院外科外来 ☎0942-53-7511



フットケア外来のご案内

糖尿病の患者さんで、足病変(皮膚障害・潰瘍・壊疽)を予防するた
めに、神経症状の有無の確認・足のケアや指導をさせていただいています。
また、糖尿病に限らず、当院主治医より胼胝・魚の目・巻き爪などがあり、ケ
アが必要であるとされた場合は、当外来に紹介として、ケアをさせていただ
いています。ご不明な点がありましたら、お気軽にご相談ください。

●外来日時：毎週水・木曜日の13:00～14:30 ※完全予約制

●対象者：糖尿病の患者さん/当院主治医より紹介があった患者さん

●ご予約・ご相談：筑後市立病院内科外来 ☎0942-53-7511



病棟看護師(フルタイム)随時募集!!

病棟看護師(有期職員)の採用は毎月予定をしていますので、ご希望
の採用日に合わせてご応募ください(ただし定員に達している場合は、募集
をしない月もあります)。

◆応募資格 正看護師または准看護師の免許を有する方

面接日までに当院で開催する体験学習会に参加すること

◆応募方法・応募条件

当院ホームページに詳細を掲載しておりますので、ご覧ください

◆選考方法 面接

◆今後の募集予定【平成26年 3月1日・4月1日 採用分】

採用日	平成26年3月1日(土)	平成26年4月1日(火)
募集開始	1月14日(火)	2月10日(月)
体験学習会	1月29日(水) 9:00～12:00(予定)	2月26日(水) 9:00～12:00(予定)
応募締切	2月3日(月)正午まで	3月3日(月)正午まで
面接	2月7日(金)	3月7日(金)
事前説明会	2月14日(金)	3月14日(金)

予定していた日程が変更となる場合があります。上記以外の月のスケジュール
につきましては、筑後市立病院総務課人事・厚生係(☎0942-53-7511)まで
お問い合わせください。

→ 新着情報 → 患者さん

◆詳しくは筑後市立病院ホームページをご覧ください

<http://www.chikugocity-hp.jp/>

2013.12.24 日本が治療認定医療機関... NEW!

2013.12.16 有期職員を募集しています!

2013.12.13 『2013 外来・入院患者さんへのアン

外来診療のごあんない

●受付時間 【月～土曜日】 8:15～11:30 (診療開始/8:30～)
 ●休診日 日曜日・祝日・第3土曜日・お盆(8/15)・年末年始(12/30～1/3)
 ※ただし、救急患者は随時受け付けています。

2014年1月1日現在

診療科	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当	梅井/白地	星野 奈津子	折田【大学】	上松【大学】	梶原 雅彦 (副院長)	福岡/富永/中尾 末友/河野
消化器内科	進藤 洋一郎	久永 宏	梶原 雅彦 (副院長)	草場 喜雄	白地 美紀	久永 宏
呼吸器内科	福岡 竜介 河野 徳子	富永 芳和 中尾 栄男	末友 仁 河野 徳子	福岡 竜介 富永 芳和	中尾 栄男 末友 仁	福岡/富永/中尾 末友/河野
内分泌・代謝内科	安田 淳一	工藤 孝文	安田 淳一	工藤 孝文	安田 淳一	工藤 孝文
循環器内科	大内田 昌直 (副院長)	田中 格子	梅井 秀和	梅井 秀和	大内田 昌直 (副院長)	梅井 秀和
血液内科	—	—	—	中村【大学】	—	—
小児科	中島 正幸	中島 正幸	久留米大学病院医師	中島 正幸	中島 正幸	中島 正幸
放射線科	野崎 健 温 友美	野崎 健 温 友美	野崎 健 温 友美	野崎 健 温 友美	野崎 健 温 友美	野崎 健 温 友美
外科	吉田 正 (院長) 古川 哲	友枝 博 中野 昌彦	中野 昌彦 白濱 靖久	松尾 英生 古川 哲	吉田 正 (院長) 白濱 靖久	松尾 英生 友枝 博 大塚【大学】 (第2・4週のみ)
整形外科	井上 貴司 溝上 健次 大本【大学】 (不定)	中村 英智 (副院長) 原 秀(*) 手術の場合有	溝上 健次 加藤田【大学】	中村 英智 (副院長)	井上 貴司	中村 英智(副院長) 瓜生【大学】 (不定)
麻酔科	佐藤 輝幸 〔手術〕	—	—	佐藤 輝幸 〔手術〕	—	佐藤/古賀 (第2・4・5週のみ)
産婦人科	上妻 益隆	上妻 益隆 薬師寺 道明 (名誉院長)	上妻 益隆	上妻 益隆	上妻 益隆 薬師寺 道明 (名誉院長)	—
耳鼻咽喉科	大淵 晋輔	大淵 晋輔	大淵 晋輔	大淵 晋輔	大淵 晋輔	大淵 晋輔
泌尿器科	坂下 直	坂下 直	坂下 直	坂下 直 末金【大学】	坂下 直	坂下 直
眼科	馬場 順子	馬場 順子	馬場 順子	馬場 順子	馬場 順子	馬場 順子
漢方専門外来 12:30～14:30	—	—	—	宮崎 憲一郎(*) お問合先：外来外科	—	—

(※)：事前に各科外来(午前中)にお問い合わせください。

●上記内容は医師の学会出張などで変更することがあります。詳しくはお問い合わせください。

◆小児救急外来 八女筑後医師会の小児科医、内科医および久留米大学小児科医

●夜間小児救急

【診療日】 毎週月～金曜日 ※ただし、祝・休日、お盆、年末年始は除きます。

【診療時間】 午後7時～午後10時(受付午後9時30分まで)

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
実施病院	公立八女 総合病院	筑後市立病院	公立八女 総合病院	筑後市立病院	公立八女 総合病院	—

●休日診療小児救急

第2・4日曜日：筑後市立病院 第1・3・5日曜日、祝日：公立八女総合病院

【診療時間】 午前9時～午後3時(受付午後2時30分まで)

診療科目 ●内科●外科●心臓血管外科●消化器外科
 ●消化器内科●脳血管内科●整形外科●呼吸器内科●麻酔科
 ●内分泌・代謝内科●産婦人科●循環器内科●耳鼻咽喉科
 ●小児科●泌尿器科●放射線科●眼科●リハビリテーション科

病床数 233床(一般231床、感染症2床)

地方独立行政法人 筑後市立病院

〒833-0041 福岡県筑後市大字和泉917-1
 TEL 0942-53-7511

<http://www.chikugocity-hp.jp/>



日本医療機能評価機構